

難関の「公害防止管理者国家試験」において

全国で10代の合格者7名のうち、高松工芸高校の生徒が6名！

～ 1校で過半数の合格者を出すのは3度目 ～

高松工芸高校工業化学科の6名が難関資格試験に合格

令和4年12月15日(木)、試験を管轄している一般社団法人産業協会公害防止管理者試験センターから、令和4年度の公害防止管理者国家試験結果が公表されました。ダイオキシン類関係公害防止管理者国家試験に全国から698名が受験し、10代で合格した者はわずか7名、そのうち高松工芸高校の生徒が6名を占めるという素晴らしい成果を収めました。

合格したのは次の6名の生徒で、本校工業化学科の3年生2名と2年生4名です。

3年生〔太田^{おおた} 夏暉^{なつき}、間城^{ましろ} 朔弥^{さくや}〕

2年生〔難波^{なんば} 友^{ゆう}、西岡^{にしおか} 真慧^{まさと}、伏見^{ふしみ} 漣^{れん}、宮崎^{みやざき} 悠成^{ゆうせい}〕

(参考)

国家試験 ダイオキシン類関係公害防止管理者 合格者数

受験者数と合格者数の()内の数は3年生の内数

年度	受験者数			合格者数		
	全体	～10代	本校	全体	～10代	本校
H25	916	43	10(2)	353	6	3
H26	860	42	13(4)	351	9	3(2)
H27	862	31	7(2)	447	3	1(1)
H28	846	33	7(2)	307	7	3(2)
H29	906	32	9(1)	446	8	5
H30	792	28	11(3)	389	7	3(3)
R1	808	20	11(3)	293	4	1
R2	651	25	11(3)	262	2	1(1)
R3	640	11	6(1)	270	3	2(1)
R4	698	11	9(2)	347	7	6(2)

「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」で定められる公害防止管理者は、燃料や原材料の検査、騒音や振動の発生施設の配置の改善、排水や地下浸透水の汚染状態の測定、煤煙の量や特定粉塵の濃度の測定、排出ガスや排水に含まれるダイオキシン類の量の測定の実施などの業務を管理し、自然環境に悪い影響を与えるのを防ぐのが使命である。

公害防止管理者等の資格は公害発生施設の区分によって13種に分かれており、その一つであるダイオキシン類関係公害防止管理者試験は、高校では学習しない内容がほとんどであり、工業化学系学科の生徒が受験する資格としては最難関のレベルである。